

井戸端だより

第13号

発行日 1996. 4. 10.

発行 ぐらしの学習会

騒々しい1995年が終わり、今年こそはと期待して迎えた1996年でしたが、10年ぶりの寒い冬。ようやく訪れた春の日ざしにホッとしたのもつかのま、4月に入ってからの花冷えのきびしさに驚かされています。世の中も、今年もまた騒々しく、住専の処理方法、薬害エイズ問題、TBSオウム報道疑惑、沖縄の基地にからむ様々な問題、ユナボマーの正体やスーパーK、そして、いじめ・覚醒剤使用の低年齢化・性モラルの低下など子供たちをとりまく不幸な状況等々、何をどう信じればいいのかイライラする毎日が続いています。

それでも、何事もなかった様に例年どおり、春の花が美しく咲き始めています。そんな自然の偉大さに感心したり、いつまでもこの自然の優しさに甘えていたら、いつか、この美しい花も見られなくなる時が来るかもしれないと不安になったりしています。

!!1995～1996活動報告!!

・1995. 12. 26. 15:00～

Mさん宅で山内議長と話し合いをもち、泉について“ぐらしの学習会”でまとめた意見を提出しました。この際、町が主体的に各界の関係者の意見交換会を開催してほしい旨を強く訴えました。山内議長は、これを町にもっていき、1月22日以降日程を調整して開催の運びにできるよう努力することを約束してくださいました。

(4月1日現在まで連絡なし)

・1996. 1. 22. 13:30～ 1月例会

会員でもある川内町町議会議員渡部伸二さんに出席していただき、川内町での松食虫農薬空中散布の問題、ゴミ問題など興味深いお話を伺いました。渡部さんは、「ゴミに関してとった住民アンケートを町政に活かしてほしい」「指定のゴミ袋も色々な問題があり環境面で良いとばかりは言えない」「ゴミ袋は1枚70円かかる」「農薬の空中散布は国の助成金の悪い例」「情報公開条例の整備の必要性」などについて淡々としかも熱く語ってくださいました。

<1月22日の定例会報告>

出席者9名

最近の教育問題や自然保護(泉とその周辺部の現状)について話し合いました。

川内町の町議会議員をされている渡部伸二さんにも来ていただきました。渡部さんは議会を広く住民に開かれたものにして、年4回「渡部しんじの議会通信」を発行しています。私達も一部いただきましたが、これには川内町の現状や問題点又それをとりあげた町議会の報告が、わかりやすく書かれていました。「学童保育について」、「議員報酬について」、「温泉利用の浴場構想」など、地元住民にとっては何れも興味のある内容でした。これを作るのは大変だろうなと思いつつ、私などは町議会の様子をこれまで全く知りませんでしたので、とても興味深く読みました。そのほかにもいろいろ話し合いましたが、これから町を作っていく議員さんとして必要な素質を持った方でした。渡部さんが重信町でなく川内町の議員さんなのがちよっと残念。

K. K.



・1996. 2. 19. 13:30～ 2月例会

①出会い塾に重信中学ALTのピーターさんに来ていただいて話を聴きたい。

→実施の方向ですすめる。

②佐々木先生の講演のテープおこしが完了し、ワープロうちも終わり講演録ができたが、これをどうするか。単にコピーして会員に配るか、泉についての一連の、私たちの活動記録のようなものを作りその中に入れるか、その場合資金面で、女性の活動を助成している機関に応募してみるか、などの意見が出ました。これについては多くの会員の意見を聞きたいので、継続審議することになりました。皆さんのご意見をお寄せください。

③会員名簿、電話連絡網を作成する・・活動会員にのみ配布することとする。

・1996. 3. 15. (金)19:30～ 3月例会と出会い塾

ピーター・サーシーさんのお話しを伺いました。以下、参加された方から寄せられた感想です。

出会い☆発見☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆ ☆下キ下キ・トーク ☆☆☆☆☆

若者出会い塾 第二弾

ゲスト；ピーターさん

3月15日午後7時半、林さんのお宅で、夕食後のお茶の時間という雰囲気の中、三々五々集まった14、5人で楽しいひとときをすごしました。彼は重信中学校の英語の先生ですが、この日ばかりはアメリカからやってきた一人の青年として参加してもらっています。彼の故郷オハイオは、見渡す限りのとうもろこし畑と明るい太陽と気さくな人々がいて、ちょうどいい暮らしがある、すてきなところらしいことが、かれの熱っぽい話しぶりから想像できます。行ったような気になってうっとりしていると、いきなり、アメリカの消費税のはなしが飛び出し、ワレにかえったりして。さてそんな楽しい1コマをちょっと紹介してみると・・・・・

ピーター；アメリカ（以下、米）では14才くらいからみんなアルバイトをするよ。だいたい、ベビーシッター。親の友達とか知り合いの紹介でね。だからネットワークはけっこう大事なんだ。仕事させてもらえるからね。

A；ほかにはどんなアルバイトがあるの？

ピーター；年齢によってだいたい決まってて、中学生くらいだと、ほとんどベビーシッター、高校生くらいからハンバーガーショップ



みたいなところ。

B ; お小遣いなんてないの？

ピーター ; なに、それ？ ふへん。ないよ。米では高校生が車で学校へくるのは当たり前だけど、でも当然親の車借りてるわけね。それでガソリン代は自分でなんとかしないとイケない。親子関係は日本とちょっと違っているかもしれない。はっきりしている。責任をすごく大事に考えている。アルバイトの目的も、こどもはお金が欲しいからしたいんだけど、親はこどもに責任の果たし方を覚えさせようとしているから、親も、アルバイトは大事と思ってる。そうやって自立していくんだ。いつも、はやく自立したいって思ってた。

C ; 米では老親を誰がみるとか決まってるの？

ピーター ; 米ではこどもは独立したら別に暮らすのが当たり前。別に住んで、しょっちゅう会う。

D ; 長男が、っていうことはある？

ピーター ; 全然ないというわけではないよ。長男が責任感じて、心配するようなことはごく自然にある。でもそういうときでも、親と一緒に住むことは望まない。

E ; ケアはだれがするの。

ピーター ; 米はボランティアがたくさんいる。誰でもボランティアをいろんなかたちでしている。だから、そういう援助が受けられるから、出来る人です。

F ; そうそう、米のボランティアのこと、もっと教えて。

~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ .

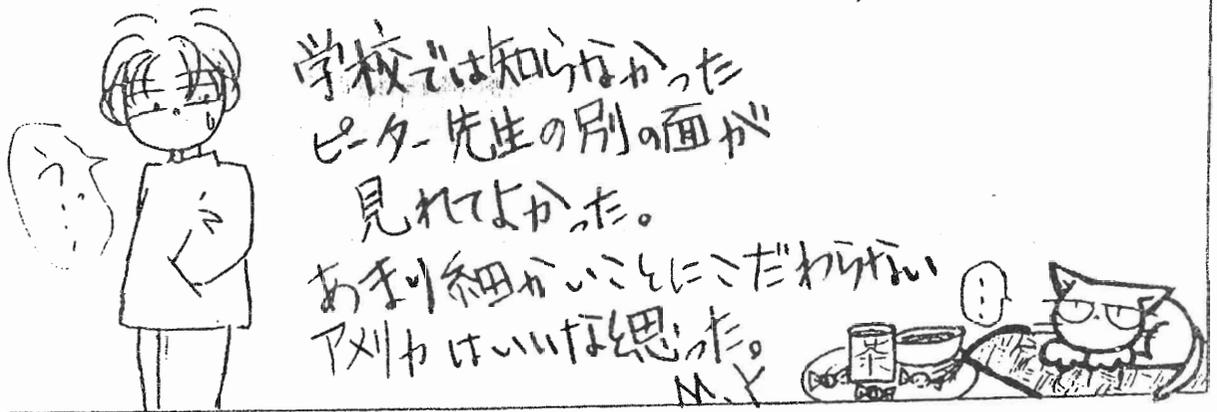
こうして楽しい夜はどんどん更けていくのでありました。
この日、参加してくれた中学生6名はどんなことを感じ、また考えたでしょうか。大人たちはとても満足そうな様子でした。(Y)



まじめで精力的な人の話だったのでおもしろかった。彼の話とはにかく「成人としての独立」を主張するものだった。アメリカでは早い時期から自分の存在を主張して自力で生きてゆくように育てられるとのことで、聞いていてこういう社会はさぞかし強いだろうと想像した。しかしこれが高じるとできるものだけが生き残り、そうでないものは生きてゆけない、さめた社会となる危険をはらんでいる。しかし、アメリカによって唱えられた民主主義は、自分たちだけがよければよいというものではなく、自分と能力や考え方の違うものも認めて共存しなければならない、というものはずである。また好都合なことに、アメリカには「弱者を助けましょう」というキリスト教精神がありボランティア精神もあるので、現在は何とかバランスがとれているように見える。アメリカが文字通りそうであるならお手本のような社会ではないか。根回しとつながりの都合によって動かされている日本の社会も早く彼の主張するアメリカ社会のように成長してほしいと感じた。

彼によると重信に来て不愉快なことや、がまんしなければならないことなどもあって、しんぼうすることを知ったとのことで、日本のいかならさぞかし、と少々彼に共感を覚えたが、逆に文化・伝統の違いに基づく行き違いは、説明すれば納得しあえるものが多そうだと感じた。

最後に私が一番感じたことは、アメリカは多民族が共存するための社会であるが、日本は日本人だけが住むための社会であるという現実である。遠い将来、地球が一つの国となる時代が来るのであろうが、その途中日本がアメリカ的社会へ近づく段階が果たしてあるのだろうか。幼少時から培われた人情とか生き方とかいったものは変えがたく、それに合った環境でなければ生きて行きにくいだろう。「重信はよい所だが、一生住むことはできない。」というサーシーさんの言葉はそれを如実に物語っていた。 —以上—



NEWS / にゅうす / ニュース

白形さん 入選

21世紀へ残すべき四国の自然・文化遺産の写真の公募に、「清流に舞う」と題して三か村泉に舞うオオカワトンボの作品を応募、見事入選されました。NHKアートプラザにて3月26日まで展示されていました。

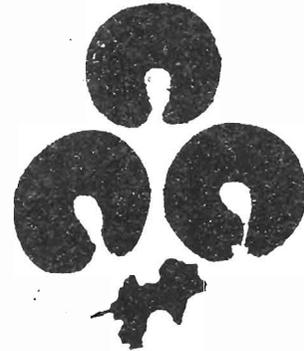
また、白形さんから学習会に重信川のパンフレットを10部いただきました。欲しい方は事務局までお申し出ください。(Y)

NHK放送開始70周年

あなたが選んだ

「四国の自然・文化遺産」

公募写真展



展示の概要	
○ 展 示 コンセプト	21世紀へ残すべき四国の自然・文化遺産 の写真57点を一堂に展示し、四国の豊か な自然と文化遺産への認識を深めるととも にその魅力を紹介する。
○ 出品作品	金賞1点、銀賞1点、銅賞5点、 入選作品50点 合計 57点 (ビデオ入賞作品7点を同時上映)
○ 会 期	平成8年3月19日(火)～26日(火)
○ 会 場	NHK松山放送局アートプラザ
○ 主 催	NHK松山放送局 NHKさんまメディアプラン四国制作センター NHKケービスセンター松山支局
○ 後 援	愛媛県、愛媛県教育委員会
○ 入 場 料	無 料

今後の予定

☆4月例会・・・4月15日(月) 13:30～

- ◇佐々木先生の講演録の取り扱いについて(みなさんのご意見をお寄せください)
- ◇出会い塾 第3弾について
- ◇新居浜の視察について
- ◇その他

●会員募集(随時受付)

◇活動会員2000円、購読会員1000円

◇会員の方で今年度も続けてくださる方は、今年度分の会費をお願いします。

(振込口座番号)01610-5-21026

くらしの学習会

●編集後記 ● 前回は全くワープロに触れなかった私も四十代最後の挑戦をしてみました。そして雨垂れのようなうちかたですが、なんとかさわれるようになりました。これも、この会に入っていたおかげです。次回は楽しんでうちこめるようになっていたいと思います。ファイト!!

K. O.

◆お知らせ◆

☆ 今年度も昨年同様、代表を林智子さん、会計を後藤陽子さんに決定しました。
よろしくお願ひします。

☆ 今年度の活動として

- ・ 出合い塾の充実
- ・ 「泉」については町の出方を待つ
- ・ 重信町のゴミ問題や、新しい焼却炉について知りたい
などの意見が出ています。

◆メモ◆

くらしの学習会 ☎964-6956

